

長崎大学

データサイエンス・統計リテラシー教育プログラム

プログラムの概要

本プログラムは、長崎大学の全学部に向けて提供される数理データサイエンス科目を中心としたリテラシー教育プログラムです。現在、社会のグローバル化や産業構造の変化が加速する中、社会における様々な問題の解決、新しい課題発見、データから新しい価値を創造できる人材の養成が求められています。長崎大学においても、各々の分野において自らデータを分析し価値を引き出せる人材を養成すべく、本教育プログラムを構築しました。プログラムを構成する2科目「データサイエンス概論」と「統計学概論」は、全学部の学生に向けた授業科目となっており、令和3年度から、必修科目として展開しており、内容は文系理系を問わず理解できるものとしています。本プログラムを通じて、身に付けられる能力は以下となります。

- ・データの処理、集計、可視化、分析を行うためのデータサイエンスの基礎的事項を学習し、社会における事象を適切に捉え、分析・説明できる力
- ・様々な分野に共通するデータの集計、分析、解釈を行うための統計学の基礎的事項

プログラムの修了要件

本プログラムを構成する2科目「データサイエンス概論」と「統計学概論」（各クォーター科目1単位）の両方の単位を取得すること（合計2単位）。

※学部・学科によって、修了要件は相違しません。

プログラムを構成する授業科目の概要

1. データサイエンス概論
この授業では、様々な分野のデータを分析するためのデータサイエンスの基礎を学習します。
【対象学生】
全学生（必修科目）
【学期】
2021年度 1, 3クォーター（学部単位で振り分け）
【シラバス】
<https://www.mlms.innov.nagasaki-u.ac.jp/nds/index.php/syl/>
2. 統計学概論
この授業では、様々な分野のデータを読み解く上で、共通して必要となる統計学の基礎的事項を学習します。
【対象学生】

全学生（必修科目）

【学期】

2021年度 2， 4 クォーター（学部単位で振り分け）

【シラバス】

<https://www.mlms.innov.nagasaki-u.ac.jp/nds/index.php/syl/>